

## 創刊の辞

流通経済大学産業経済研究所 (Institute of Trade and Industry) は昭和48年に創立され、本年度で7年目を迎えることになった。

研究所の母胎である流通経済大学は、流通経済問題を1つの柱として経済学・経営学の理論的研究と、またそれを通して広く社会に貢献し得る人物の育成とを目的としている。本研究所もその流れに沿いつつ、さらに流動発展しつつある流通経済の現実に応じた調査・研究と、流通経済に関連の深い諸産業についての幅広い実態把握を目指している。

もとより大学に附置された研究所であるから、調査・研究であっても、あくまで理論の具体的な研究、あるいは **embody** された理論の研究を目的としている。理論のための理論研究でなく、現実を精確に把握する眼を養うことを通して理論的研究を前進させたいと思っているのである。

最近の日本経済において、企業・経済界は減量経営を徹底させるとともに、同時にこれからの時代に即応した省エネルギー化を含む技術的革新を行わねばならず、減量と革新という時には相矛盾する要因を含んだ困難な課題を背負うことになる。

このような企業構造・産業構造さらには経済構造の転換が必要とされる重大な時期において、その実態を把握して理論を深め、それによって進むべき方向を展望すること、またそれを通じて福祉経済化・国際経済化を内容とする日本経済の発展に寄与すること、これが本研究所の志すところである。

ここに創刊される『流通問題研究』 *The Commerce and Transportation Review* が、これらの重要な課題を果たすために大きな貢献をすることを希ってやまない。

1980年9月1日

流通経済大学産業経済研究所所長

松 本 達 郎